



ハイライト部分は語順が固定、茶色の縦連続枠はよく順が入
れ替わります。緑色の「とき」を表す表現は複数使えます。
『だれ何(を／に)』では値段や時間、距離なども使われます。

1

付加 (頻度、still, also, __lyなど)

等接・繋

だれ何が／は

どうする
(助動詞＋
一般動詞)

A だれ何を／に
B →→スキップ→→
C だれに 何を
D だれ何を／に 何と、何に
(to)～
～ing / 過分
E 前＋だれ何 ～するよう

to ～／that 節
間接疑問文
whether...
どのように
どこ
～するには・するの／に・しに
to ～
～しに・～するのに
～ing
その他

何回
どのくらいの間
何時に
いつ
どのような条件で

も

なぜ
～だけれど

1-Dの黄色いボックスの(to)～と～ingは
4-Dの黄色いボックスのそれらと同じ意味。



青網掛け部分は主語 (S)、灰色網掛け部分は動詞 (V)、
オレンジ網掛け部分は目的語 (O)、黄色網掛け部分は補語 (C)

だれ何のために／目的で／を求めて／にとって
だれ何について／の／ことを／に対して／が原因で／
何語で、だれ何と一緒に／伴って／なしで
だれ何より／のうちで／と同じくらい／のように
どんな行事・機会・点・状況で、何として など

2

2-B～2-Fの付加

2-Aの付加

等接・繋

だれ何が／は

A イコール
(be動詞)
B 五感
C なる
D ままでいる
E ...にする
F 重さがある など

だれ何／どんなだ

どのように
どこ
～するには・よう・なん／～するのに
to ～／～ing
～すること／～すること
to ～／～ing
that 節／whether...
その他
to ～
～ing
that 節
whether...

何回
どのくらいの間
何時に
いつ
どのような条件で

も

なぜ
～だけれど

主語が仮(形式)主語 it の時の真主語

3

付加

等接・繋

A (特定する語)
だれ何は
B There
C Here

いる・ある
(be動詞)

A →→スキップ→→
B (数量詞) だれ何が
C だれ何が／は

どこ
その他

何回
どのくらいの間
何時に
いつ
どのような条件で

も

なぜ
～だけれど

3-Cの『だれ何が／は』は代名詞の場合、be動詞の前に移動

4

be の代わりに get, become の場合もあり

等接・繋

だれ何が／は

どうされる
(be＋過分)
付加

A →→スキップ→→
B 何を
C ☆に / ☆のために
to / for だれ
D 何と、何に
どんなだ
～すること・するの／に・しに
to ～／～ing

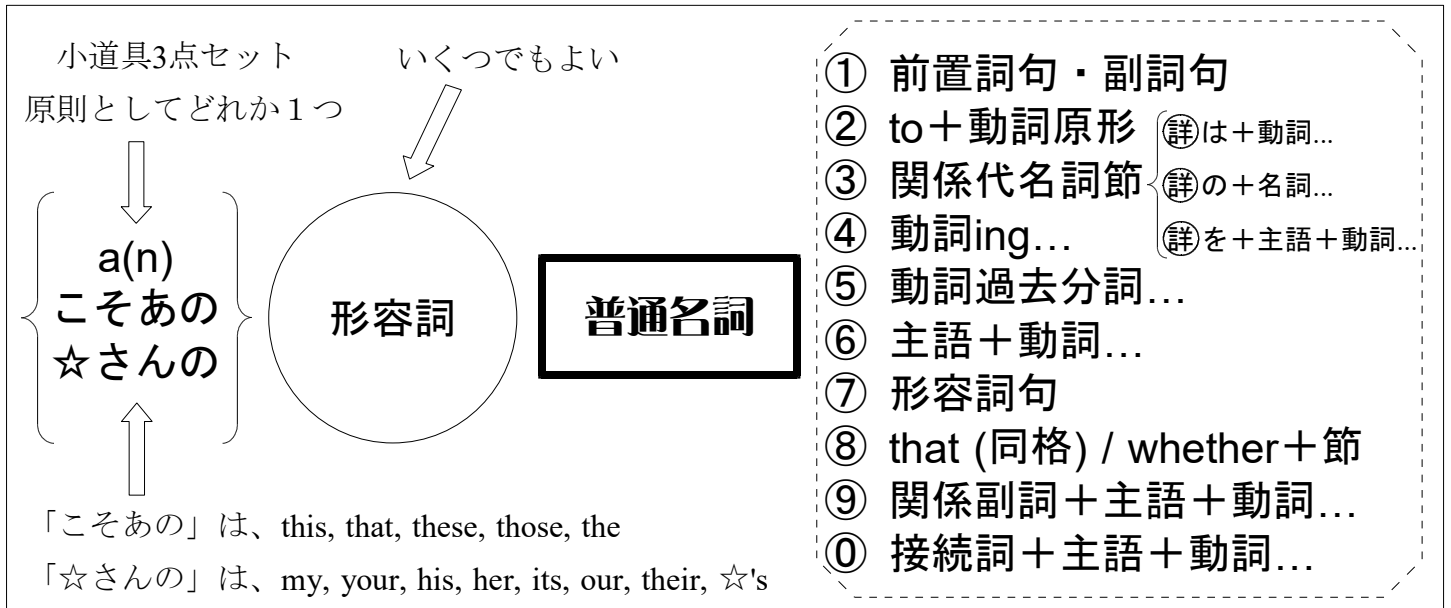
to ～
～ing
that 節
whether...
どのように
だれ何によって
どこ
～するには・するの／に・しに
to ～
その他

何回
どのくらいの間
何時に
いつ
どのような条件で

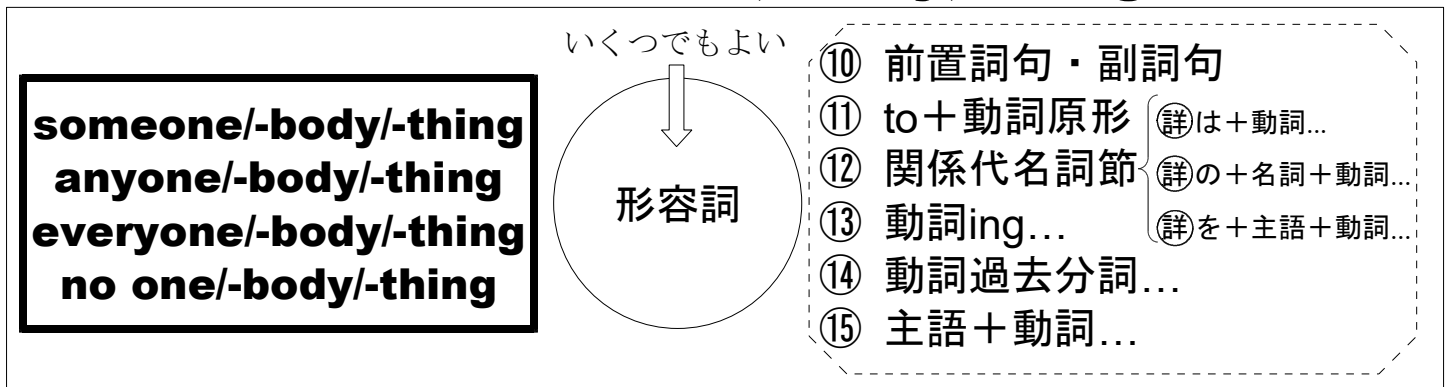
も

なぜ
～だけれど

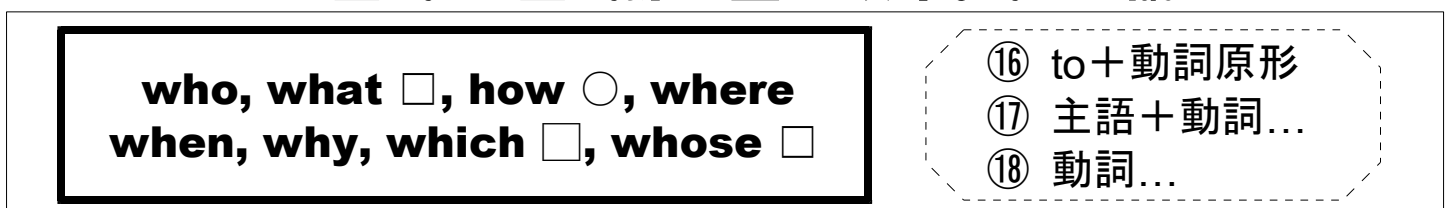
ア. 名詞句の図 (普通名詞編)



イ. 名詞句の図 (-one, -body, -thing編)



ウ. 名詞句・名詞節の図 (疑問詞(句)編)



エ. 名詞句・名詞節の図 (where, ever編)

